



# 核兵器廃絶へ

石下 洋子 議員

答 平和市長会議と共同して

**石下** オバマ米大統領の核兵器廃絶への呼びかけに対して、被爆地の自治体の長として、どのような行動を取られますか。

**市長** オバマ演説は核兵器廃絶に向けた世界の流れを創り出す原動力となるもの。  
平和市長会議の加盟市として核兵器のない世界の実現に向けて取り組んでいきます。

**石下** 4月より生活保護の母子加算が廃止されました。  
母子加算に代わる市独自の制度をつくるべきと思いますがどうですか。

**市長** 4月より生活保護の母子加算が廃止されました。  
母子加算に代わる市独自の制度をつくるべきと思いますがどうですか。

**市長** いま農業を取りまく状況は非常に厳しく、後継者の育成に支障をきたしています。  
今後、農業者のニーズを把握し、担い手育成支援のあり方を検討していきます。



▲ 原爆ドーム

**市長** 子どもの健全育成策として参考書代など学習支援費を支給します。  
市独自の制度の創設は厳しい財政状況の中では困難です。

**石下** 国保の特定検診の受診率（23%）向上のために、検診場を増やし、検診料を下げればよいと思うが対策は。

**市長** 受診率向上のための広報活動とともに昨年度の未受診者にはハガキを出して受診をうながしています。

# 農業団地の造成は

沖 也寸志 議員

答 水源が確保できない



**沖** 大柿町深江地区に読売ゴルフから譲渡された土地に、市内建設業者を対象に農業団地を開発する構想は諸条件が整わず、未着手のままだが今後の予定はどうか。  
また、沖野島を含む周辺地域は海生交流都市として魅力があると思うがどうか。

**市長** 農業団地造成にかかる環境水源調査を20年度に実施したが、農業生産に重要な水源の確保の見込みに到らず、ハウス団地の展開は断念した。  
現在、農業外企業からオリーブ栽培を企画提案されているので、検討している。

**市長** 農業団地造成にかかる環境水源調査を20年度に実施したが、農業生産に重要な水源の確保の見込みに到らず、ハウス団地の展開は断念した。  
現在、農業外企業からオリーブ栽培を企画提案されているので、検討している。

**市長** 農業団地造成にかかる環境水源調査を20年度に実施したが、農業生産に重要な水源の確保の見込みに到らず、ハウス団地の展開は断念した。  
現在、農業外企業からオリーブ栽培を企画提案されているので、検討している。

沖野島マリーナは「海の駅」にも指定されており、本市の都市像である。



# 行財政改革の目影

前田 鎮夫 議員

答 市財政持続のため推進

取り残された

生活道路の改修は

**前田** 行財政改革に伴い、財政圧縮で地域の生活道路や公共施設が荒れている。

改修・補修はこれからどのように考えているのか。

**市長** 改修の全てを市の財源で対応しており満足できていないが、国の20・21年度の臨時交付金を活用して懸案の路線は改修を行う。

委員会等の改革は

**前田** 行革の推進で市の委員会等の改革も必要ではないのか。若い人たちが

による発想転換で活性化を図るためにも委員の年齢制限制度もいるのではないか。

**市長** 今後策定する第2次行財政改革で、審議会や協議会などの付属機関について設置の必要性、委員構成の見直しを進める。

何年待つか県道改良

**前田** 市内県道の江田島町中央、江南、大柿町柿浦地区は一部で幅員も狭く、渋滞も激しく、大型車は通行に難儀している。対策を県に要望しているのか。

**市長** 毎年県への要望活動の中で整備促進を強く

要望している。  
今後も整備事業の促進を積極的に要望していく。



▲ 改良中の道路（江田島町）



▲ 沖野島マリーナ

「自然との共生・都市との交流による海生交流都市」の実現に向けてマリーナを核とした交流地域として、魅力や可能性は大きいと考えている。